

第二次新潟市立図書館ビジョン 令和4年度実績 評価シート（全館）

図書館の基礎的数値	実績（全館）			
	指標	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1 資料購入費	決算額	95,301	93,966	86,837
2 蔵書冊数(単位:冊)	図書のみ	1,873,262	1,881,453	1,870,257
3 個人貸出人数(単位:人)	図書、雑誌、AV、電子	855,010	1,058,352	1,086,785
4 個人貸出点数(単位:点)	図書、雑誌、AV、電子	3,485,739	3,725,127	3,674,726
5 個人登録者数(単位:人)	有効期間は4年	126,161	120,654	113,767
6 (うち新規登録者数)(単位:人)	上記の内数	10,190	12,911	12,563
7 団体の貸出冊数(単位:冊)	図書、雑誌	107,692	107,140	107,425
8 入館者数(単位:人)	図書館のみ	1,749,721	1,897,949	1,953,712

ア 市民の生涯学習や課題解決を支援します。	指標	実績		目標		令和4年度の成果と課題	令和4年度外部評価欄	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度		令和5年度	段階評価
<p>施策① 多様な利用に応じた図書館サービスの提供</p>	予約件数	788,834件	851,760件	900,000件	850,300件	850,000件	<p>3 大変評価できる 64%</p>	<p>・「レファレンス」などの言葉は極力分かりやすい言い換えをした方がいいと思います。 ・コロナ禍を契機とし、より多様な方法で市民が図書に触れる機会を創出されている点で、評価できます。また、レファレンスサービスについても市民の課題を解決するために、本・情報と人との中間支援の役割を果たされている点で評価できます。いずれも素晴らしい取り組みであるため、今後、より多くの市民に伝わるよう広報をどのように進めていくかを、さらにご検討して頂くことを期待しております。 ・今後に向けて、「電子図書館サービスの充実」や「E-mailによるレファレンス」に注目しているのは、とても良い。デジタル化は、効果が期待できそうだ。そのことを広く市民に広報できると、さらに良い。 ・コロナ禍の状況の継続を考えると、前年度から50,000件増に設定された目標値を達成しなかったのは無理もないことと思われます。むしろ前年度と同水準に達したことは取り組みの健闘を示すものとして評価されてよいのではないのでしょうか。 ・レファレンスは事例を知ることで依頼の内容をイメージしやすくなります。マイライブラリにレファレンスの事例が公開されたことでさらなる利用拡大が見込めると思います。事例公開が継続され更新されるよう期待しています。 ・若い方や外出できない方には電子図書の利用はこれからもニーズは増えてくると思います。今後も紙に触れる利用者の数は減っていくのかと思いますので、広報等で利用者を増やしていただければと思います。 ・レファレンスサービスの受付件数が目標をはるかに上回る数字であり、とても評価できる。 ・電子図書館サービスの充実をはかったことは、いろいろな状況にある方々が図書館を便利に利用できる可能性を広げることにつながり、良かった。 ・レファレンスサービスの利用者が増加しているのは、市民の方々のニーズがしっかりととらえられていたからだと感じた。 ・「多様な利用」が「多様な利用者(子ども、若者、障がい者、団体等)」も「多様なもの(図書、雑誌、AV、電子)の利用」も含んでいることが分かりました。しかし、これに対する指標は適切なのかはよく分かりませんでした。 ・図書館はたくさん本があり借りられる所、というイメージはまだ大きく、本に無関心な人はあまり立ち寄らないという現状があると思います。レファレンスサービスの周知は、本を借りられるだけではない、様々な活用価値があることを周知することでもあると思います。ぜひ継続してほしいと思いました。 ・活字離れが言われる昨今、予約件数、レファレンス両者の実績が右肩上がりであることに希望が持てます。レファレンスの一般的な認知度の伸びしろはもっとあると思いますので、引き続き周知に力を入れていただきたい。</p>
<p>施策② 課題解決のためのレファレンスサービスの充実</p>	レファレンス受付件数	90,571件	91,649件	93,000件	129,287件	130,000件	<p>2 ある程度評価する 27%</p> <p>1 評価できない 0%</p>	

イ 特色ある地域づくりに寄与しま	指標	実績	実績	目標	実績	目標	令和4年度の成果と課題	令和4年度外部評価欄	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和5年度		段階評価	自由記述
施策① 地域資料(郷土資料・行政資料)の体系的な収集	郷土・行政資料の蔵書冊数	127,964冊	130,393冊	131,000冊	132,504冊	133,000冊	<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料や行政資料の受入れを積極的に進めたことで、目標を上回りました。 身近な話題から、注力している世代に向けたテーマ展示など様々な資料を活用した展示を行いました。新たに展示コーナーを設けたり、計画的に展示期間を設定するなど工夫を行い目標回数を達成できました。引き続き、地域への情報発信の拠点として、充実に努めます。 	3 大変評価できる 64% 2 ある程度評価する 27% 1 評価できない 0%	<ul style="list-style-type: none"> 貴重な資料の散逸を防ぐことは公的機関の大事な役割だと思います。 貴重な歴史・文化の資料の保存は図書館の重要な役割の一つであり、収集し展示することで市民の目に触れる機会を増やすことができたという点で評価できます。ただ、図書館を含む社会教育施設の今後の在り方としては、参加・参画型、体験型のあり方も必要となると思われます。貴重な資料を活かして世代間の交流を図るような講座・体験活動のさらなる展開を期待しております。 目標を充分達成しており、すばらしい。今後、市立施設ではあるものの、さらに「県」にもウイングを広げ、佐渡の世界遺産登録や県民教育の日などにも目配りをしてもらえたら有り難い。 地域資料の収集は図書館の大切な使命の1つと思います。利用件数にこだわることなく年々着実な収集を重ねられるよう期待しています。 資料のテーマ展示の効果は大きいと実感しています。そのテーマに関する資料の認知範囲が一気に広がるからです。これは個人の利用者には実現できないことで、図書館ならではのサービスとして重視して頂きたいと思っています。地域課題解決以外の他の分野でも多様なテーマ展示が実施されるよう願っています。 展示コーナーでは歴史ある書物を大切に保管されていることも分かりました。若い世代に研究の材料として触れてもらえる様なPRと関連させて、個室の貸出スペースを紹介していただくとじっくり研究できる場が図書館にあることを知ってもらえるのではと思いました。 郷土資料や行政資料の収集は地域図書館の大きな役割であるため、今後も積極的に進めてもらいたい。 図書館が、ここまで地域づくりに貢献してくださっていることに驚いたし、有難いと感じた。 資料を集めるだけでなく、職員の方々が工夫して展示をされていて、大変すばらしいと思います。大人向けだけでなく、子供向けも展示されていて学習に役立つと思いました。展示コーナーの設置について内容や期間等を小・中学校へ知らせれば、さらに学習に役立つことができると思いました。 地域資料のデジタルアーカイブ公開は、大変有効な取組であると思います。各学校では、同じような内容で同時期に学習することがあると思いますが、資料不足で困ることがなく、一人一人に合わせて学習することが可能になるのではと思います。 今回初めて中央図書館の2階に足を踏み入れ、郷土、行政関係の蔵書がたくさんあったことに驚きました。他の委員もおっしゃっていましたが、テーマ展示の図書館別、テーマ別のデータベース化が進むことに期待します。
施策② 地域の課題解決に役立つ資料の活用	資料のテーマ展示回数	661回	765回	770回	819回	825回			
ウ 子どもの読書活動を推進します。	指標	実績	実績	目標	実績	目標	令和4年度の成果と課題	令和4年度外部評価欄	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和5年度		段階評価	自由記述
施策① 子どもの読書環境の整備	児童書の貸出冊数(個人・団体)	957,839冊	1,071,306冊	1,072,000冊	1,066,256冊	1,072,000冊	<ul style="list-style-type: none"> 子ども読書活動推進計画に基づき、ブックスタートや子ども・親子を対象とした様々な事業を実施しましたが、個人の貸出冊数が減少しました。他の施設や団体と連携を図り、読書活動への働きかけを行っていく必要があります。 学校図書館訪問や研修の実施、また、学校貸出セット【オレンジBOX】を充実したことで団体の貸出冊数につなげることができました。 	3 大変評価できる 64% 2 ある程度評価する 27% 1 評価できない 0%	<ul style="list-style-type: none"> SNS、AI等の技術が加速的に発展する今日、子どもの心の健やかな成長に読書は最適と信じます。一層の注力を。 ブックスタート・オレンジBOXといった取り組みによって、年代ごとの子どもの読書環境を積極的に整えようとしている点が評価できます。子どもの遊び環境が変化し、個人用ゲーム機がある中で、「読書・本は面白い」とどのように伝えていけるのか、また思春期世代へのアプローチはどのようにしていけるのか、という点を今後一緒に考えていけたらと思っています。 学校貸出「オレンジBOX」は、市内各校ですっかり馴染み、定着した感がある。ただ、各学年の指導計画がほぼ同じため、必要な資料が必要な時季に重なり、うまく活用できないという声も聞く。学校現場でも引き続き、解決策を考えたい。学校だけでなく、広く「子どもの読書環境」ということで、様々な事業展開は、今後成果が現れるのではないかと。継続により周知を図ることが肝要であろう。 毎年の児童数減を考慮すると4年度の実績は自然減の範囲とも考えられます。目標値の設定も評価も実際の児童数の推移にもとづいたものにシフトしていく方が実態に即した評価につながるかと思います。 子どもの読書推進に関わる職員の派遣が目標値を上回っていることは学校現場が専門職員の支援を求めていることの表れだと思います。現場の要請に応じてできる限りの支援がなされるよう願っています。 赤ちゃんから絵本に触れることは大切だと思います。沢山情報がある中、何を読んだらよいか分からないお子さんたちに、テーマごとでお勧めの本を紹介していただくと興味広がるのではないかと思います。 学校と連携してタブレット上でもお知らせコーナーとして季節ごとの本を提供できる様になればと思います。 児童数が減る中、児童書の貸出も増加させることはなかなか難しいと思われるが、学童保育や児童館など、学校以外の施設へも団体貸出の取組を積極的にPRして貸出増加につなげてほしい。 学校貸出しセット「オレンジBOX」は、幼稚園や保育施設も利用可能か？また、可能だとしたら、利用方法は？絵本(読みきかせ)の大切さを認識している親と、そうでない方のギャップが大きいことが気になる。 子ども向けの事業や地域教育コーディネーター研修での働きかけ等、様々な取組が有効であることを実感しています。ぜひ継続をお願いします。 豊栄図書館で読み聞かせをしています。参加者0人の日もあります。図書館へ連れてくるのは親なので、親への啓蒙がさらに必要かと思います。0歳時のブックスタートを継続して2・3歳時でも続ける、親子向けプログラムの工夫、保育園での講演、チラシ配付等、取組の工夫があればと思います。 R4年度の個人貸出点数は前年度比微減でした。新規個人登録者数における子どもの割合が気になります。子どもの数は減少ですが、本を読む子と冊数を増やすことは可能だと思っています。24年度からのオレンジBOXの充実も素晴らしいです。
施策② 学校、保育園・幼稚園・こども園、公民館などとの連携と支援	子どもの読書推進に関わる職員派遣	77人	88人	90人	116人	120人			

エ 市民参画と協働を推進します。	指標	実績	実績	目標	実績	目標	令和4年度の成果と課題	令和4年度外部評価欄	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和5年度		段階評価	自由記述
施策① 利用者・市民による 図書館運営への参画	図書館協議会や 利用者懇談会の 開催	図書館協議 会を2回開催	図書館協議 会を2回開催	図書館協議 会を2回開催	図書館協議 会を2回開催	図書館協議 会を2回開催	・ブックスタートにおいて、 コロナ禍で中止していたボ ランティアによる読み聞か せについて一部の区で活 動を再開しました。 ・令和4年3月から「こいが たし元気力アップサポー ター」・「新潟県いきいき県 民カレッジ」に登録したこと で、配架書架整理ボラン ティア等の活動におけるモチ ベーションアップにつな がりました。引き続き、ボラ ンティアを育成・支援し、活 躍できる場を提供していき ます。	3 大変評価できる 73%	・日常を取り戻すだけでなく一層のパワーアップに期待します。 ・市民の力を活かしながら図書館の運営を図っていくために、参加できる窓口を多面的に用意されている点が評価できると 思いました。ただ、施策②とも関連しますが、まちに暮らす市民と市民、市民と活動をつないでネットワーク化を図るといっ た役割も、今後の図書館の可能性として考えられます。まちづくりでの図書館の役割とはといったことについて市民から意 見を聞く機会ー例えば小さなワークショップーを設けてはいかがでしょうか。 ・たいへん目覚ましい成果が上がっており、素晴らしい。必ずしもただちに本格的な図書館ボランティアを目指すわけでは ない人、そういった試しの研修参加も大いに認め、ボランティアの裾野を広げていくと良い。 ・ブックスタートやおはなしのじかんなどの事業は、子どもの読書活動の根を養う大切な取り組みです。こうした取り組みへ 市民が協働する流れを促すためにもボランティア養成講座の継続と充実は欠かせないものと思います。 ・多様なボランティア活動の場を設定し、市民の参加意欲に働きかけた結果として目標値を大きく上回る参加実績を得たこ とは特に評価されるべきと思います。市民にとってはボランティアの場が提供されること自体が行政サービスです。この取り 組みが継続されるよう望みます。
施策② ボランティアや教育機関・民間団体 との連携協力	ボランティア参加 のべ人数	2,374人	3,179人	3,300人	4,134人	4,200人		2 ある程度評価する 18%	・子どもだけでなくお年寄りなどが集う場でも読み聞かせをしていただける場はあると思います。ボランティアをしたい方、ボ ランティアに来てほしい方につきましては連携させていただければと思います。 ・ボランティア参加人数が大幅に増えており、大変評価できる。今後も引き続き様々な団体と連携して取り組んでいってほし い。
								1 評価できない 0%	・どのように市民の方々をまき込んで、“みんなの図書館”という意識を持っていただけるか、評価はむずかしいと思うが、一 歩ずつ進めていただいているように感じた。 ・読み聞かせ研修により、豊栄図書館応援団に新しい会員が増えました。今後も研修の計画的な継続をお願いします。 ・昨年、北区で「キテミテ北区役所」というイベントがあり、豊栄図書館から依頼を受け、豊栄図書館応援団として参加しまし た。読み聞かせコーナーを担当し、たくさんの方々から参加いただきました。普段図書館に足を運ばない方々にも関心を もってもらう良い機会となりました。図書館外で働きかける機会も有効であると思いました。 ・R2年度はコロナ禍でイベント等が減っていたので、回復傾向は望ましいが、これは予測可能な範囲なので、引き続き、ボ ランティアの参加機会とモチベーションアップのための工夫をお願いしたい。